

平成 年 (年) 第 月 号 日

(あて先)
滋賀県立びわ湖フローティングスクール所長

発番を取り・発送の日付と共に記入する

学校名・校長名を記入する

学 校 名

校 長 名

(公 印 省 略)

平成30年度 びわ湖フローティングスクール指導計画書

びわ湖フローティングスクールの理念

「みずうみに学んで世界の明日をひらく人」 を踏まえ

フローティングスクールで目指す児童の姿

「びわ湖や郷土について学び，考え，伝え合い

びわ湖と自分のつながりを見つめる子」 を育てる

1. フローティングスクールで児童につけたい資質・能力

- 主体的にびわ湖や郷土とかかわり，課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け，びわ湖や郷土についての考えを持つことができる。 【知識及び技能】
- 自ら問いを見だし，体験を通して考える力を身に付けるとともに，考えたことを相互に伝え合い，まとめ・表現する力を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】
- 船内での約束を守り，規則正しく生活する実践力を身に付けるとともに，互いのよさを生かしながら，びわ湖と自分の生活とのつながりについて考え，積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。 【学びに向かう力・人間性等】

2. 航海実施日 月 日 () ～ 月 日 () 【第 回児童学習航海】

3. 児童数・引率教職員数等

学校名	児童数	引率教職員数	合 計	学校責任者 職名・氏名	指導責任者 職名・氏名	保健担当者 職名・氏名
本 校						
同 時 乗 船 校	自校の在籍児童数・引率教職員数・合計と各責任者の職名・氏名を記入する					
	同時乗船校の学校名・在籍児童数・引率教職員数・合計と各学校の責任者の職名・氏名を記入する ※学校責任者，指導責任者，保健担当者の代表者にそれぞれ○印をつける					
合 計				※学校責任者，指導責任者，保健担当者の代表者にそれぞれ○印をつける。		
本航海全体の合計を記入する						

4. 事前打合せ会

指導計画作成会議で決まったフローティングスクール指導主事等を含む事前打ち合わせ会の日時と会場を記入する

5. フローティングスクールのテーマ「
(各校の実態を踏まえた乗船校共通のテーマ)」

探究課題を明らかにした上で、フローティングスクールでの児童の学びや活動がイメージできるようなテーマを描く（下記の目指す児童の姿1～3が包括・反映されているように設定する）

6. 指導計画

	■：びわ湖学習	◆：船内生活
乗船前の学習	<ul style="list-style-type: none"> 乗船中の学習に思考がつながる乗船前の学習を記入する 探究的な学習の流れがイメージできるよう、必要に応じて学習のねらいなどを記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆フローティングスクールを知る ◆「3つのあ」を知る
乗船1日目	<ul style="list-style-type: none"> （ ）展望 ■寄港地活動 乗船中のびわ湖学習を記入する 探究的・協働的な学習の流れがイメージできるよう、必要に応じて学習のねらいや、学習相互の関係性を示す （個々の学習や活動のねらいについては、フローティングスクールのテーマとのつながりを意識したものになる） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆避難訓練 ◆食育タイムⅠ・昼食／船内見学 <p>乗船中の船内生活（特に船内での生活をしていく上で必要と考えられるものは、既に記入済みとなっている）について記入する（活動のねらいについては、他のフローティングスクールのテーマとのつながりを意識したものになる）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> （ ）展望 （ ）展望 （ポイント） 「主な学習内容」を考える際には、乗船前・乗船後の学習や乗船中の他の学習とのつながりや項目1にある「フローティングスクールで児童につけたい資質・能力」も踏まえて設定していく 児童の思考や情報の整理を行うために、「1日目の学習の振り返り」及び2日目の「学習のまとめ」を設定する <p>学習のまとめ①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆「湖の子」掃除 ◆閉校式
乗船2日目	<ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめ②（交流） 	<p>乗船後の「目指す児童の姿3」に迫るために、乗船中に目指す乗船校共通の児童の姿を描く（乗船校教職員間で共通理解する）</p>
乗船後の学習	<ul style="list-style-type: none"> 乗船中までの学習から思考がつながる乗船後の学習を記入する 探究的な学習の流れがイメージできるよう、必要に応じて学習のねらいなどを記入する（乗船後の学習内容については、各校の実態に応じたものとなる場合も考えられる） 	

目指す児童の姿1

「目指す児童の姿2」に迫るために、各校が乗船までに目指す児童の姿を描く

目指す児童の姿2

フローティングスクールの目指す児童の姿を基に、各校の児童の実態、地域性等を踏まえた具体的な姿として描く